

中小企業景況調査報告書

2020年1～3月期実績

2020年4～6月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2020年1～3月期の実績(3月見込)2020年4～6月期見通し

②調査期間：2020年2月20日～3月1日 ※調査時点は2020年3月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、更別村

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、斜里町、湧別町、新ひだか町、幕別町、釧路町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	47	92.2%	小売業	89	81	91.0%
建設業	50	44	88.0%	サービス業	110	98	89.1%
				合計	300	270	90.0%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は $50-20=+$ 30となり、売上の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比				今期	来期見込
	今期	来期見込	H31. 1-3	H31. 4-6	H31. 7-9	H31. 10-12		
製造業	▲ 36.2	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 7.0	▲ 4.6	▲ 12.7	▲ 32.6	▲ 28.9
建設業	▲ 9.1	▲ 16.3	▲ 11.9	13.6	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 19.5	▲ 14.3
小売業	▲ 54.5	▲ 60.1	▲ 38.0	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 36.2	▲ 46.6	▲ 53.3
サービス業	▲ 42.8	▲ 42.1	▲ 29.4	▲ 33.0	▲ 11.6	▲ 23.7	▲ 37.8	▲ 34.1

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H31. 4-6	H31. 7-9	H31. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	10.6	4.8	9.3	13.6	12.8	11.6	8.9
	不変	42.6	57.1	74.4	68.2	61.7	44.2	53.3
	悪化した	46.8	38.1	16.3	18.2	25.5	44.2	37.8
	D・I	▲ 36.2	▲ 33.3	▲ 7.0	▲ 4.6	▲ 12.7	▲ 32.6	▲ 28.9
売上(加工)額	増加した	10.6	10.6	46.8	40.4	20.0	15.2	
	不変	42.6	40.4	36.2	31.9	44.0	21.7	
	減少した	46.8	49.0	17.0	27.7	36.0	63.1	
	D・I	▲ 36.2	▲ 38.4	29.8	12.7	▲ 16.0	▲ 47.9	
資金繰り	好転した	10.9	4.3	8.5	6.5	6.1	6.8	
	不変	67.4	70.2	89.4	89.2	87.8	68.2	
	悪化した	21.7	25.5	2.1	4.3	6.1	25.0	
	D・I	▲ 10.8	▲ 21.2	6.4	2.2	0.0	▲ 18.2	
原材料仕入単価	上昇した	42.6	41.3					
	不変	55.3	54.4					
	低下した	2.1	4.3					
	D・I	40.5	37.0					
採算(経常利益)	好転した	14.9	6.5					
	不変	42.5	50.0					
	悪化した	42.6	43.5					
	D・I	▲ 27.7	▲ 37.0					

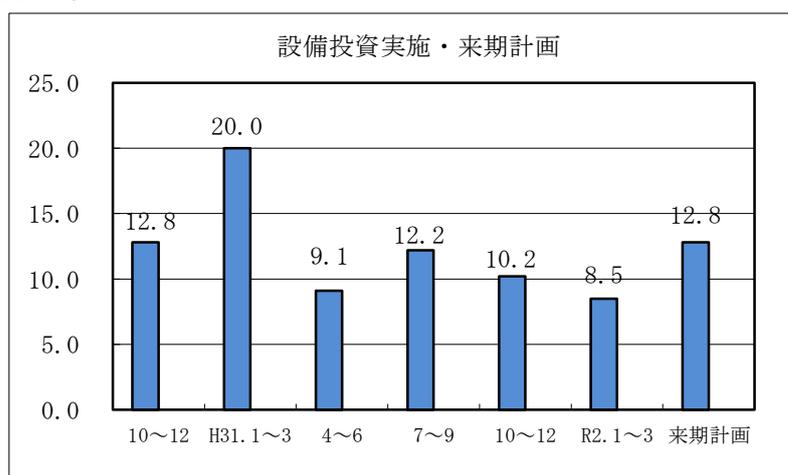
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答47事業所の内、4事業所(8.5%)が実施。●生産設備3事業所、●工事建物1事業所、●土地、付帯施設、福利厚生施設=各1事業所

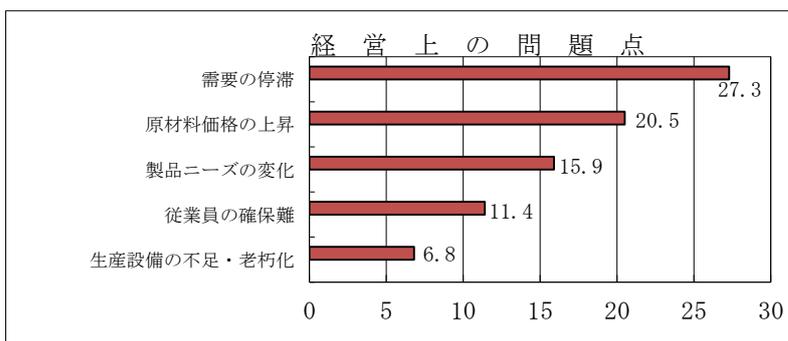
【来期計画内容】

回答47事業所の内、来期に6事業所(12.8%)が計画。●生産設備=5事業所、●土地、工場建物、付帯施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回の1位は「需要の停滞」で前回より11.4ポイント増加。2位は変わらず「原材料価格の上昇」だが4.6ポイント増加した。3位は前回4位の「製品ニーズの変化」で2.3ポイント増加した。4位は「従業員の確保難」で前回番外から6.9ポイント増加。5位は「生産設備の不足・老朽化」で前回1位から13.7ポイント減少した。前回5位の「熟練技術者の確保難」は6.9ポイント減少で番外となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H31. 4-6	H31. 7-9	H31. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	11.4	11.6	25.0	9.3	13.3	12.2	9.5
	不変	68.1	60.5	63.6	79.1	71.1	56.1	66.7
	悪化した	20.5	27.9	11.4	11.6	15.6	31.7	23.8
	D・I	▲ 9.1	▲ 16.3	13.6	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 19.5	▲ 14.3
完成工事（請負工事）額	増加した	18.6	7.0	37.7	34.9	18.2	11.9	
	不変	51.2	55.8	35.6	53.5	45.4	47.6	
	減少した	30.2	37.2	26.7	11.6	36.4	40.5	
	D・I	▲ 11.6	▲ 30.2	11.0	23.3	▲ 18.2	▲ 28.6	
資金繰り	好転した	11.4	4.7	15.9	7.1	4.8	7.1	
	不変	86.3	79.0	75.0	88.1	85.7	85.8	
	悪化した	2.3	16.3	9.1	4.8	9.5	7.1	
	D・I	9.1	▲ 11.6	6.8	2.3	▲ 4.7	0.0	
材 料 仕入単価	上昇した	46.5	47.6					
	不変	53.5	52.4					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	46.5	47.6					
採算（経常利益）	好転した	11.4	7.0					
	不変	77.2	69.7					
	悪化した	11.4	23.3					
	D・I	0.0	▲ 16.3					

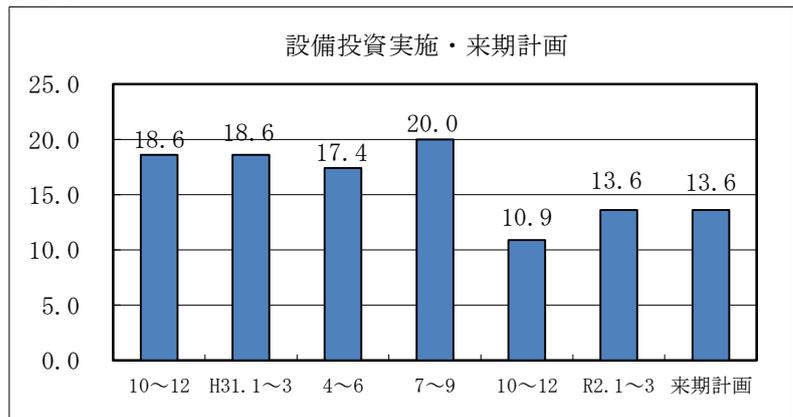
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答44事業所の内、6事業所(13.6%)が実施。●車両・運搬具=3事業所、●建設機械=2事業所、●土地、建物、付帯施設、OA機器、福利厚生施設、その他=各1事業所

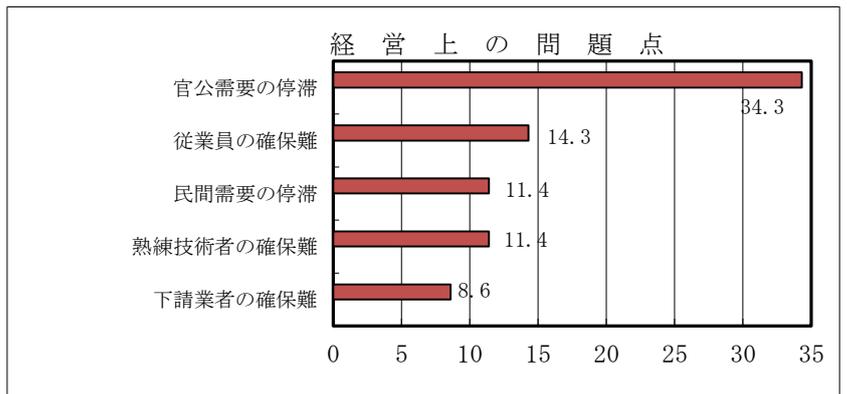
【来期計画内容】

回答44事業所の内、来期は6事業所(13.6%)が計画。●建設機械=3事業所、●建物=2事業所、●土地、車両・運搬具、OA機器、福利厚生施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回も1位は「官公需要の停滞」で前回より12.1ポイント増加した。2位は「従業員の確保難」で前回より7.9ポイントの減。3位は前回と同じく「民間需要の停滞」で2.5ポイントの減。同じく3位は、前回番外の「熟練技術者の確保難」で8.6ポイント増加した。5位も前回番外の「下請け業者の確保難」で3ポイント増加した。「材料費人件費以外の経費の増加」と「材料価格の上昇」は番外となった。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H31. 4-6	H31. 7-9	H31. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	2.5	1.3	9.7	6.7	6.9	6.7	2.7
	不 変	40.5	37.3	59.7	64.0	50.0	40.0	41.3
	悪化した	57.0	61.4	30.6	29.3	43.1	53.3	56.0
	D・I	▲ 54.5	▲ 60.1	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 36.2	▲ 46.6	▲ 53.3
売上額	増加した	13.6	2.5	26.0	22.9	24.7	13.3	
	不 変	27.2	23.5	44.1	42.2	30.9	26.7	
	減少した	59.2	74.0	29.9	34.9	44.4	60.0	
	D・I	▲ 45.6	▲ 71.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 19.7	▲ 46.7	
資金繰り	好転した	2.5	1.2	2.6	6.1	3.8	2.7	
	不 変	58.0	58.1	79.0	67.1	69.3	56.8	
	悪化した	39.5	40.7	18.4	26.8	26.9	40.5	
	D・I	▲ 37.0	▲ 39.5	▲ 15.8	▲ 20.7	▲ 23.1	▲ 37.8	
商 品 仕入単価	上昇した	32.1	29.6					
	不 変	60.5	56.8					
	低下した	7.4	13.6					
	D・I	24.7	16.0					
採算(経 常利益)	好転した	3.8	1.2					
	不 変	38.8	37.0					
	悪化した	57.4	61.8					
	D・I	▲ 53.6	▲ 60.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

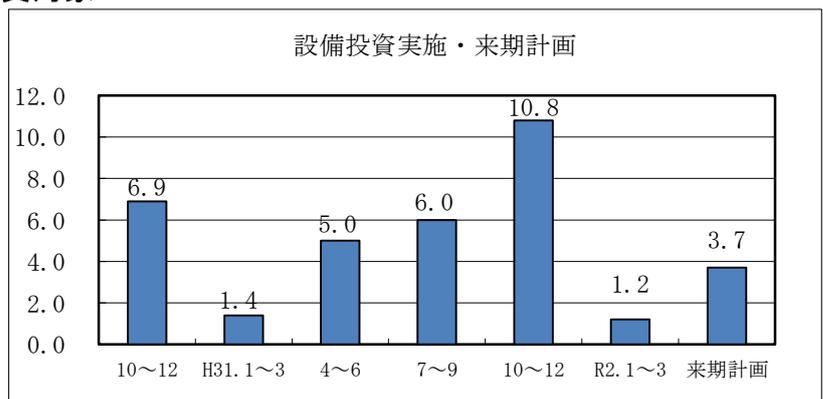
回答81事業所の内、1事業所(1.2%)が計画。

●OA機器=1事業所

【来期計画内容】

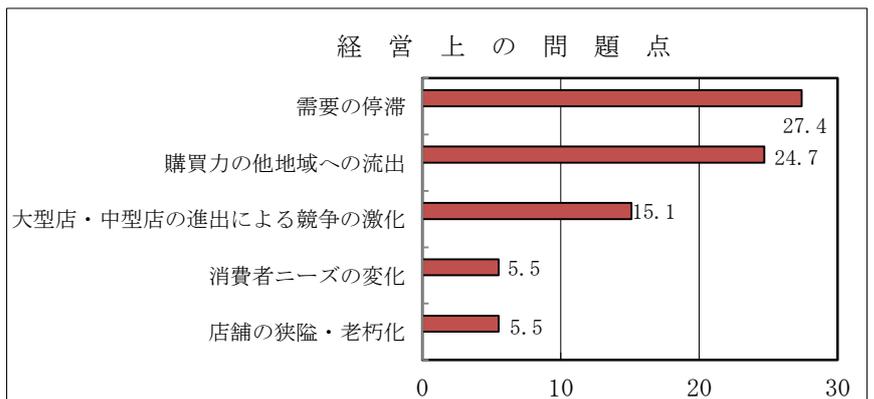
回答81事業所の内、来期は3事業所(3.7%)が計画。

●車両・運搬具=2事業所、●店舗、付帯施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回は前回と同様の順位であった。1位の「需要の停滞」は前回から2.7ポイント増加。2位の「購買力の他地域への流出」は3.9ポイント増加した。3位の「大型店・中型店の進出による競争の激化」は前回より1.8ポイントの減少。4位「消費者ニーズの変化」は4.9ポイントの減少。「店舗の狭隘・老朽化」は前回より2.3ポイントの減少であった。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H31. 4-6	H31. 7-9	H31. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	4.1	4.2	3.2	11.6	7.5	4.4	8.5
	不 変	49.0	49.5	60.6	65.2	61.3	53.4	48.9
	悪化した	46.9	46.3	36.2	23.2	31.2	42.2	42.6
	D・I	▲ 42.8	▲ 42.1	▲ 33.0	▲ 11.6	▲ 23.7	▲ 37.8	▲ 34.1
売上(収入)額	増加した	8.2	5.1	21.2	29.8	13.0	10.3	
	不 変	38.8	34.7	41.3	39.4	42.0	36.1	
	減少した	53.0	60.2	37.5	30.8	45.0	53.6	
	D・I	▲ 44.8	▲ 55.1	▲ 16.3	▲ 1.0	▲ 32.0	▲ 43.3	
資金繰り	好転した	3.1	3.1	3.0	7.8	5.1	3.1	
	不 変	68.0	58.8	75.0	74.6	75.5	68.8	
	悪化した	28.9	38.1	22.0	17.6	19.4	28.1	
	D・I	▲ 25.8	▲ 35.0	▲ 19.0	▲ 9.8	▲ 14.3	▲ 25.0	
仕入単価(材料等)	上昇した	38.5	31.9					
	不 変	57.3	62.8					
	低下した	4.2	5.3					
	D・I	34.3	26.6					
採算(経常利益)	好転した	5.1	5.2					
	不 変	48.0	48.4					
	悪化した	46.9	46.4					
	D・I	▲ 41.8	▲ 41.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

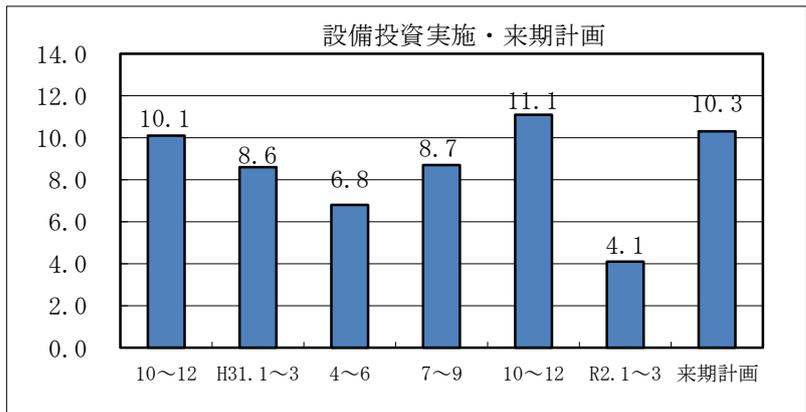
回答98事業所の内、4事業所(4.1%)が実施。

●付帯施設=3事業所、●車両・運搬具=1事業所

【来期計画内容】

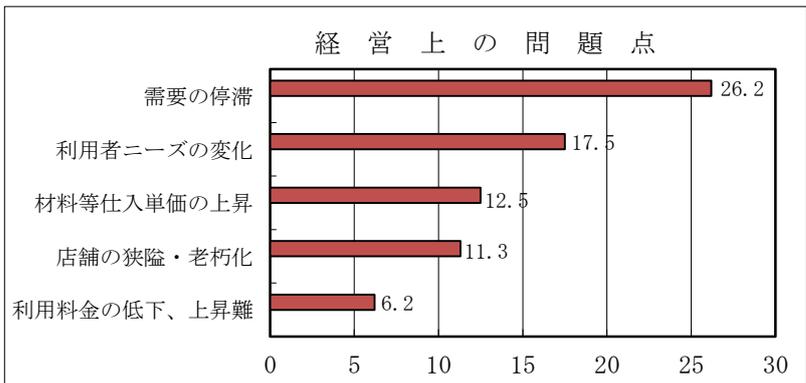
回答97事業所の内、10事業所(10.3%)が計画。

●車両・運搬具=4事業所、●付帯施設=3事業所、●建物=2事業所、●その他=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位から4位は前回と同様の順位であった。1位の「需要の停滞」は5ポイントの増加。2位の「利用者ニーズの変化」は0.6ポイント増加した。3位の「材料等仕入単価の上昇」は前回より0.4ポイント減少した。4位の「店舗施設の狭隘・老朽化」の前回より0.5ポイント減少している。5位は「利用料金の低下、上昇難」で前回番外から5ポイント増加した。前回5位の「従業員の確保難」3.2ポイント減少の5%で番外となった。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

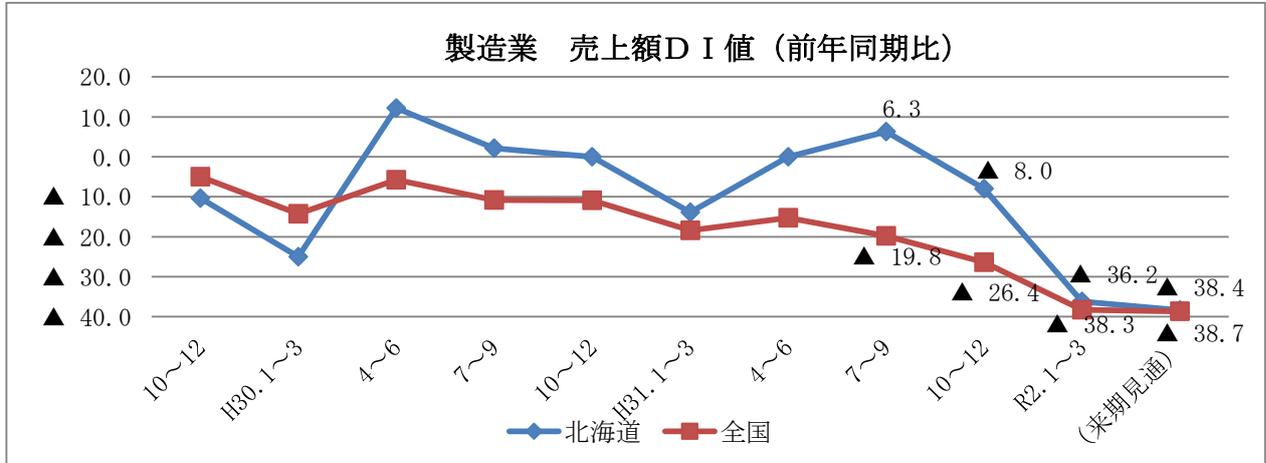
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

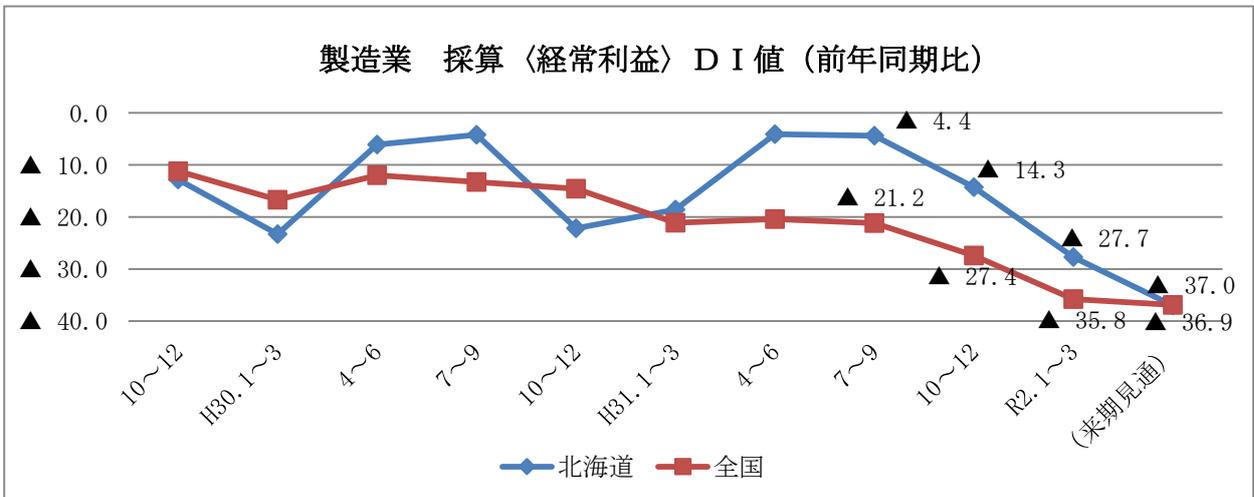
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

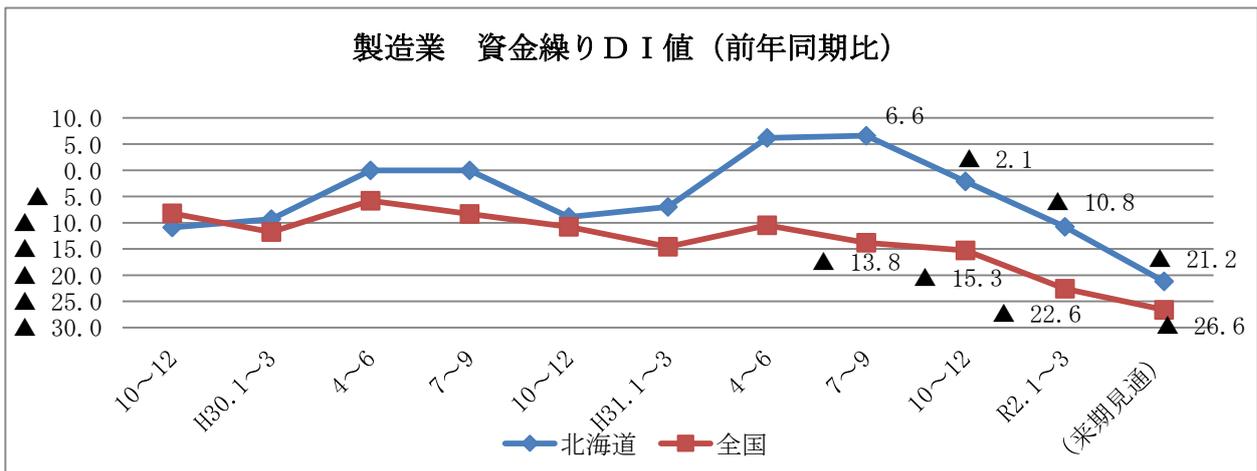
売上額



採算



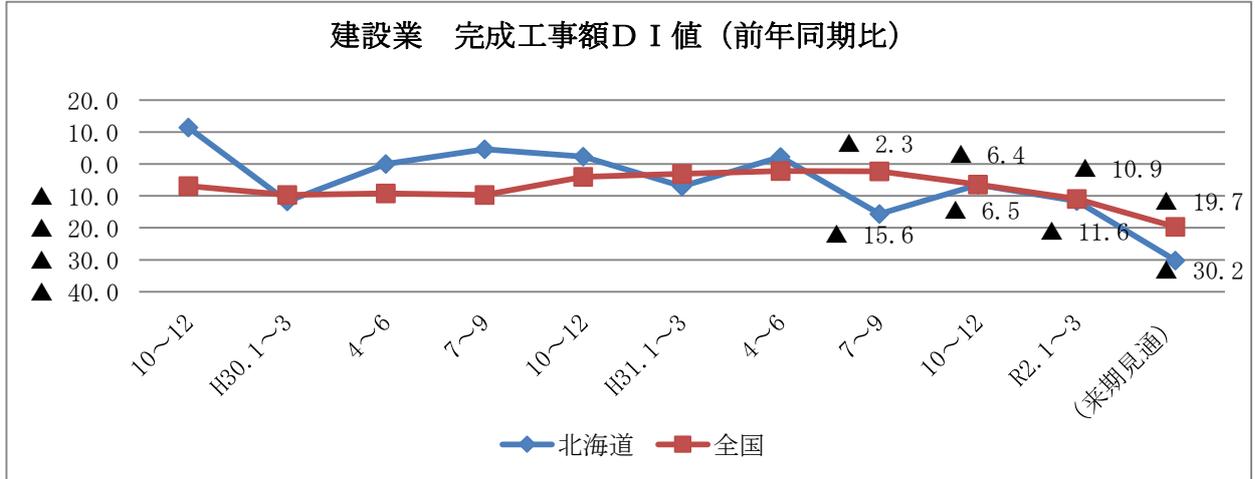
資金繰り



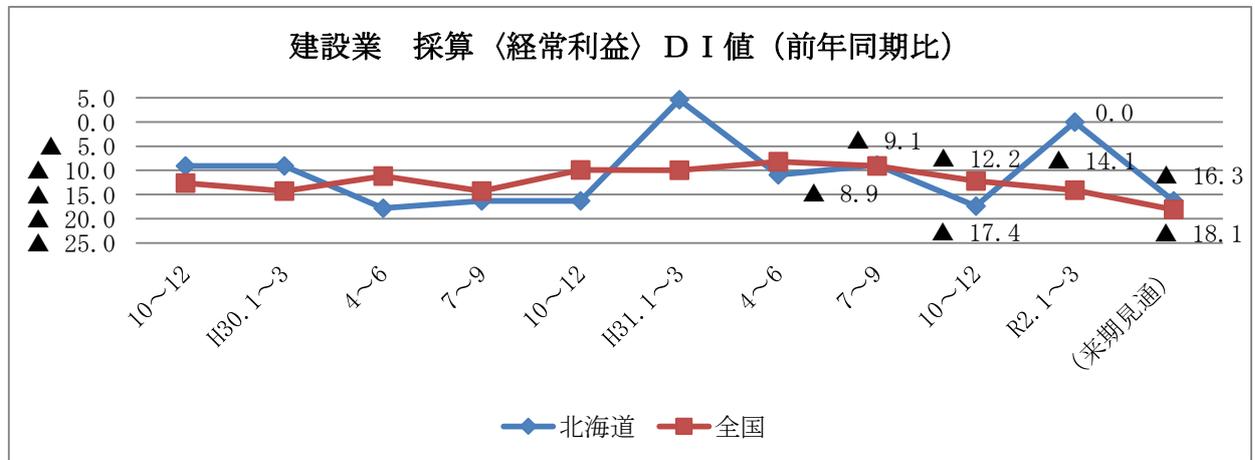
建設業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・増加
 (見込)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

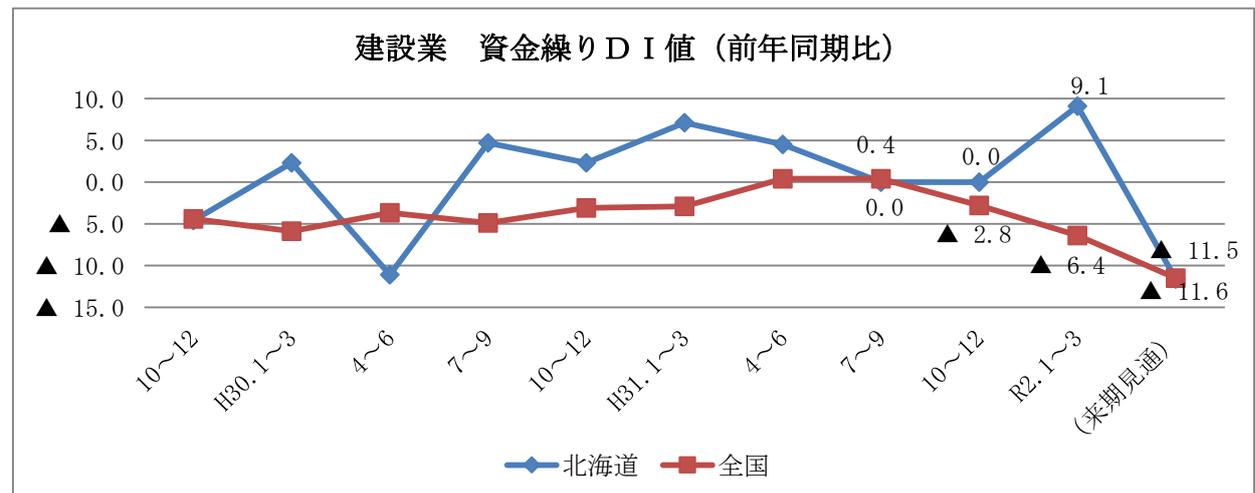
完成工事額



採算



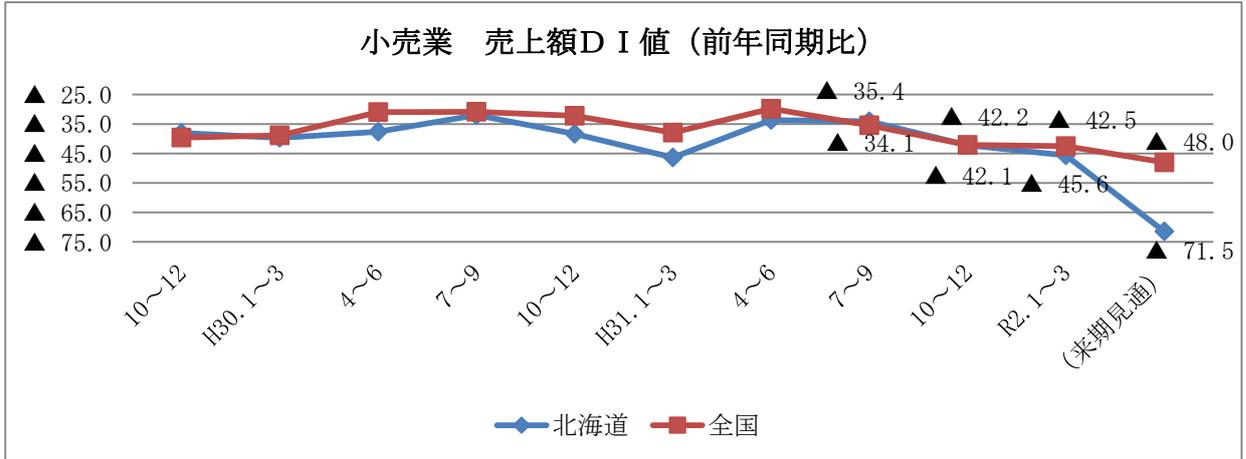
資金繰り



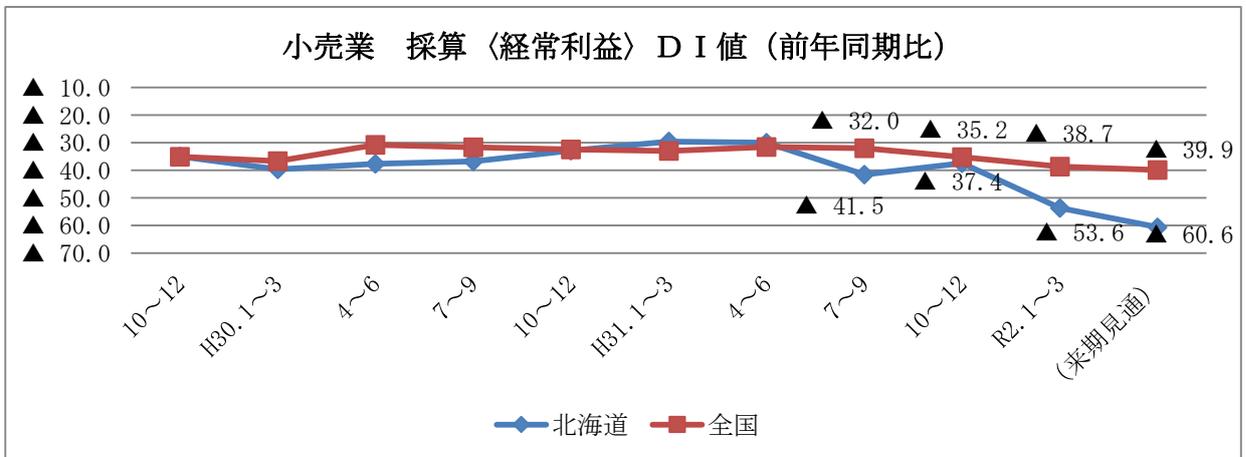
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・横ばい、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

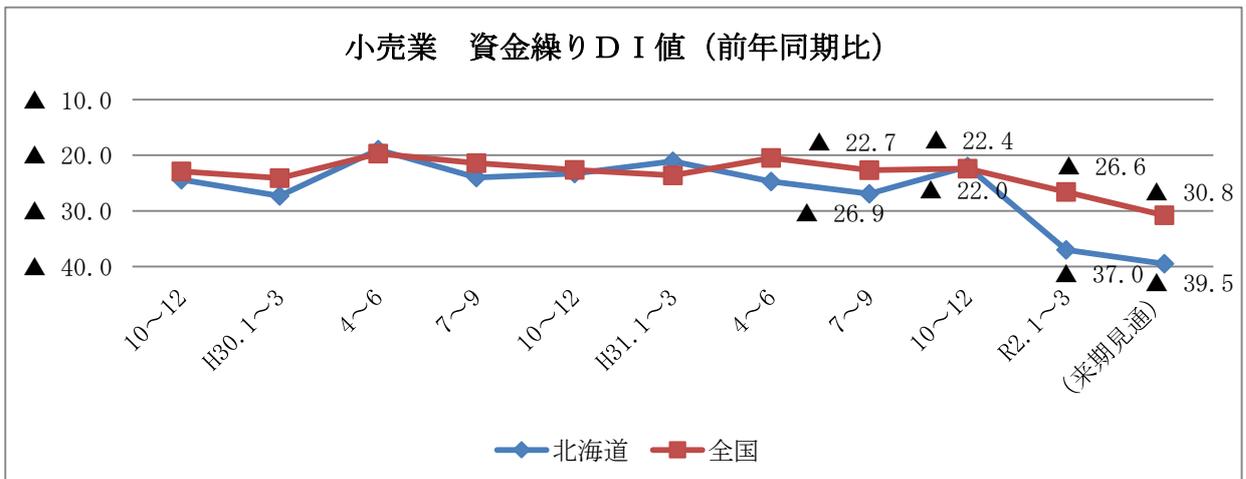
売上額



採算



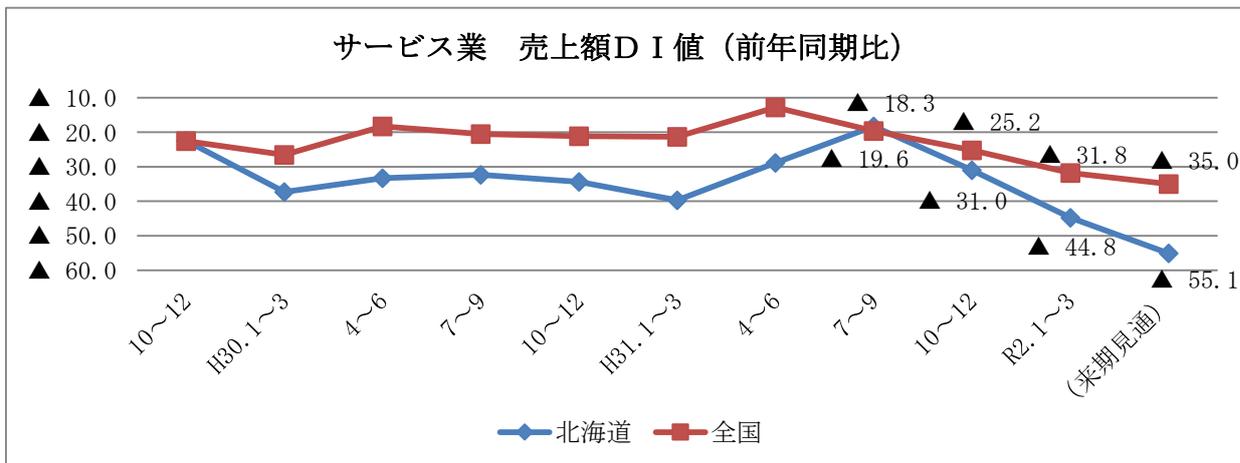
資金繰り



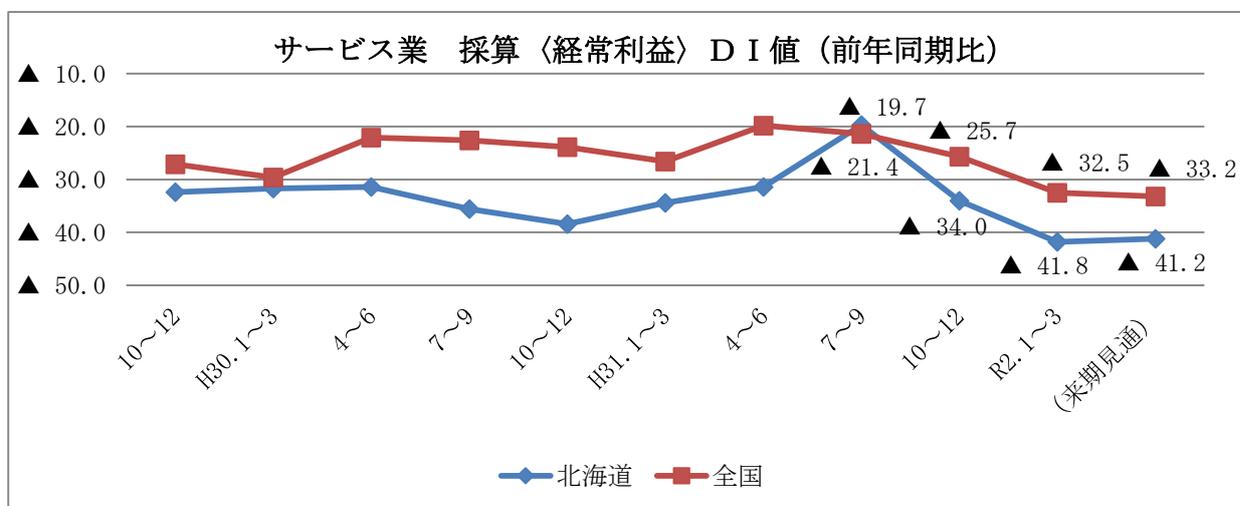
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

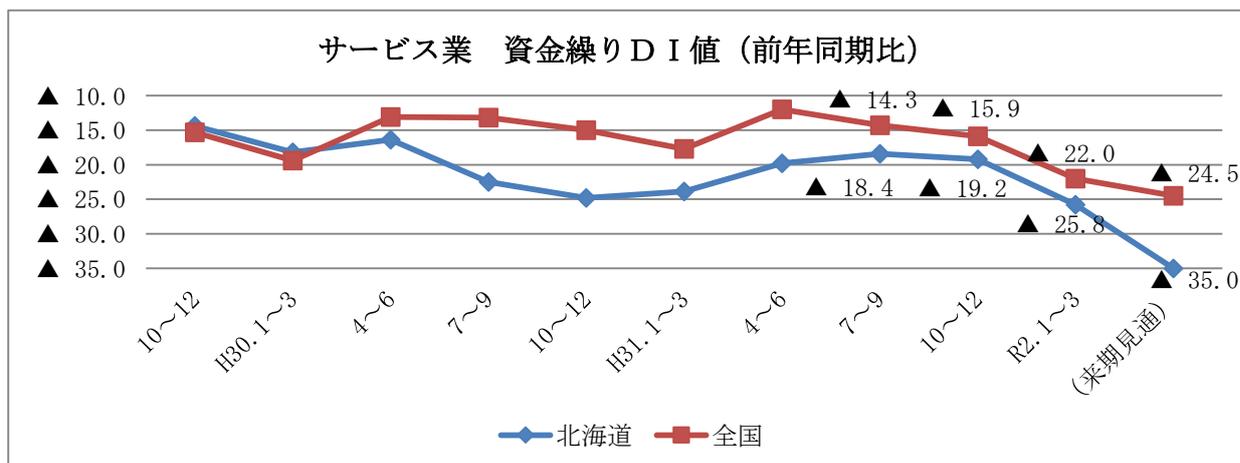
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●今年の1月より弊社ではトンネル用支保工の生産を始めました。そのため毎週出荷されますので受注が途切れることなくあります。大変良い景況だと思います。●当社でかねてより取引先であった大手会社さんの仕事が半年近く途切れてしまったため、他の仕事で何とか繋いで資金繰りをした。厳しい状況ではあったが、何とか難を乗り越えることができた。今後も油断はできない。●昨年増加した新規のお客のリピート率が高くなった。ただ、今後の新型コロナウイルスによる悪影響を心配している。●消費税増税による消費者の買い控えの影響が10日以後の売上に影響した。15%の売上減となった。●ライフスタイルの変化。●先行きの不透明感が強い。●昨期より経費節減は出来ているが、それ以上に消費税に伴う売上減が厳しい。ますます市場が縮小しているのではないかと思います。</p>
建設業	<p>全体的な判断ですが、時間外労働、同一労働同一賃金、有給休暇の法整備等の問題で今後会社経営に支障が生じられる。●仕事量があっても、従業員が増員できるわけではないので、業況をもっと良くする事は難しい。●従業員不足により、引合いがあるものの受けることができない。●新型コロナウイルスの関係で色々な業種が停滞することによる景気の悪化。それから復興が落ち着いた後の反動が、業況に影響を及ぼす恐れがある。●前年から降雪量が非常に少なく、工期短縮もあって採算性の度合いが高い工事になっており、2月からの新型コロナウイルスの影響を考えると暗雲低迷といった予感もするも、年度明け工事の受注予定もあり前途洋々と進めて行く。公共工事は見積書を作成するものの実行には至らない。地道に一般の住民に営業し、受注する事が重要である。店主の病により、今まで仕事をくれていた先も他の業者に移った様である。●官工事主体に当社は経営しているが、町発注の公共工事が減ったこともあり停滞気味である。民間工事の消費税増税後、一息した感じで伸び悩んでいる現状だ。新型コロナウイルスの影響も今後出てくるであろう。●公共工事の減少。人手不足による職人不足及びその事による工期が不確定により積極的に受注活動が出来ない。自社職員も募集しているが応募もなく先行きが不安です。建築現場は担当者の数と工事件数が同じ位しか出来ない。</p>
小売業	<p>●高齢のため事業廃業を考えている。後継者もなく事業継続が困難である。●増税による落ち込みが一段落した所に、コロナ肺炎。直接の影響ではないが、外出の自粛、購買の冷え込みが早くも感じられる。3月の見込みは平常の予測の為、実際は全く予想がつかず不安です。●新型コロナウイルスの影響が出ていると思われる。自粛ムードの為、需要が停滞。●雪不足と新型コロナウイルスの影響。●消費税増税と新型コロナウイルスの影響が出ている。●とにかく不況です。初売りは最低の売上で、月末に決算セールをしたのですが、目標には到達せずになっています。打開策を教えてほしいと思う日々です。少ない資金を投入しては何も解決しないですね。●支店を閉店して12月は売上増。1月からは1店舗になり売上減になりました。2・3月は新型コロナウイルスのことで売上、客数減になっています。●新型コロナの影響により、従業員の出勤が難しくなってきたことと、行事の自粛による注文のキャンセルが少しずつ増えてきており、3月の売上減少が今後に響くのではないかと考えています。●(購買意欲がわかない)景気の悪い空気感があり。●昨年10月からの消費税アップの影響が出てきている。</p>

サービス業

●新規のお客さんの増加が少ないので、現状維持するだけで大変。●事業所関係の固定客の増加。●もう2人だけでやっているの、お客はいるのにさばけなくなっており、人を雇うにも余裕がないので、店を開け閉めしてやっている。●新型コロナの影響がいつまで続くのか。お客様のニーズの変化、新規参入業者、地球温暖化による自然環境の変化、何か対策を考えないと様々な変化が起こっている。●毎年数名のお客様減少（亡くなる高齢者）●年々、お客様の価値観が変わっていったるよう思えることもある。定期的に施術することが当たり前だった時代から生活の順序が変わったと会話から感じ取れた。●10月の消費増税に合わせ、料金一律500円値上げしたが客数に変動なく、客離れはなかった。●高齢化。●店舗移転により1～2月休業となり、売上が無い状況となっている。●3月の見込みがこんなに悪い事は今までなかった。●3月の予約がほとんど無いです。●地震の影響で人口が減り、客も減少した。●昨年末に従業員が1名増えた事で仕事の効率はかなり上がったが、今年度1名退職者がいるので又従業員を募集しなければならないと考えております。●HACCP、受動喫煙法等、国の法律の対応による設備投資、経営の見直し等対応が迫られる中、資金繰りや今後の経営の方向性が見い出せずらい状況。新型コロナウイルスの影響もあり、今後に不安を持っている。●新型コロナウイルスにより客足の低下。終息するまでは悪化と判断します。●新型コロナウイルスの影響により、施設利用客数の減少が見込まれる。●来期は稼ぎ時ではありますが、雰囲気が悪く期待できないと思います。資金繰りが悪くなるかもしれません。不安が多い期だと思えます。●消費税の関係で売上が同じ位という事は、客数が若干落ちている。3月以降の回復に期待している。材料費は消費税分上昇している。●現状は悪いなりに不変ではあるが、経営移譲が近づいていることで、二代目へ繋いでいくことで店舗の老朽化と顧客の継承に不安を抱いている。●新型コロナウイルスの影響は多大で、売上が激減する事が予想され今後の経営に大きな打撃を受ける事は間違いない。どうしよう。